



自律した学習者を育てる教師の養成プログラム TEX

Teacher Education Program for the Transformation

20241206

中央教育審議会 教員養成部会

国立大学法人 兵庫教育大学

自律した学習者を育てる教師の養成プログラム

ー アジャイル型手法を導入したカリキュラム開発 ー

TEX Teacher Education program
for the Transformation

(1) 先導的・革新的な教員養成プログラム・教職科目の研究・開発

① 新・教員養成スタンダードの策定

新・スタンダードの項目に即したテーマ設定で教職科目体系を精緻化＋フレキシブルな改善システム

新・兵庫教育大学教員養成スタンダード

- ▶ e-ポートフォリオや資質・能力ごとの GPA による可視化システム

② 先導的・革新的教職科目の開発

- テーマ1 学習者中心のデザイン、ファシリテーターとしての教師の役割、インクルーシブ教育
- テーマ2 EdTech、教育データの活用および STEAM 教育
- テーマ3 教師の連携・協働による教育体制の構築のための教育
- テーマ4 教職大学院共通5領域に加える新たな領域科目の開発とその汎用化

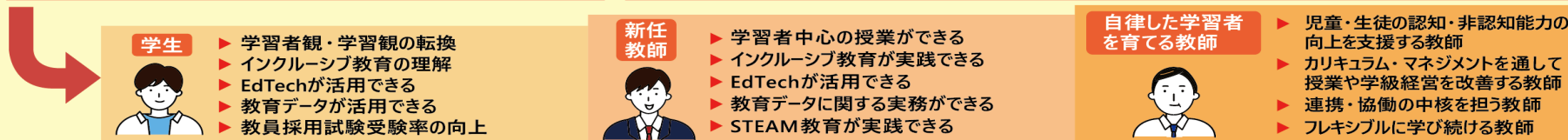
(2) 全国的な教員養成ネットワークの構築と成果の展開

兵庫教育大学教員養成フラッグシップ大学コンソーシアム

- ▶ アジャイル型手法とリンクした社会的インパクト評価ツールの開発
- ▶ 全国ネットワークによる成果発信 (教員養成スタンダード・カリキュラム・FD)

(3) 取組の検証を踏まえた教職課程に関する制度の改善への貢献

- ▶ 5年一貫による教員養成など教員養成の制度改革への貢献
- ▶ 教育大学(学部)における専門職養成機能の強化



民間企業

13社

- ▶ 先導的・革新的な教職科目開発
- ▶ 社会的インパクト評価ツール開発 など

Global Language Institute
Google intel LITALICO
MM総研 アワーズ キャリアリンク
錦城護謄 神戸新聞社
ダイワボウ情報システム 東京書籍
本郷さくら総合法律事務所 リクルート
(※ アルファベット・五十音順)

兵庫教育大学教員養成フラッグシップ大学コンソーシアム

国立大学法人
兵庫教育大学

先端教職課程カリキュラム開発センター

.. アジャイル型手法によるカリキュラム開発 ..

2つの研究開発部門を設置 (専任・兼任合わせ38人の教員を配置)

- ▶ 先端教職科目研究開発ラボ
- ▶ 教職課程改善システム研究開発ラボ

教員養成・研修高度化センター

現職教員研修
(採用・研修機能)に特化

公共団体・公的団体等

2機関

- ▶ 先導的・革新的な教職科目開発
- ▶ STEAM教育

加東市商工会 加東市商工業振興協議会

教員研修機関

2機関

- ▶ めざす教師像
- ▶ 先導的・革新的な教職科目開発

教職員支援機構 兵庫県立総合教育センター

社会教育施設

1施設

- ▶ STEAM教育

篠山チルドレンズミュージアム

全国教育長・学校長協議会等

6団体

- ▶ 教職科目体系見直し など

全国都道府県教育長協議会
全国都市教育長協議会
全国町村教育長会
全国連合小学校長会 全日本中学校長会
全国高等学校長協会

大学等

10機関

- ▶ めざす教師像
- ▶ 先導的・革新的な教職科目開発
- ▶ 5年一貫教育

上越教育大学 滋賀大学
岡山大学 鳴門教育大学
放送大学 立命館大学
芸術文化観光専門職大学
岩手大学 日本産業技術教育学会

教育委員会・学校

8機関

- ▶ めざす教師像
- ▶ STEAM教育

兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会
堺市教育委員会 加西市教育委員会
南あわじ市教育委員会
兵庫県立豊岡高校 兵庫県立篠山鳳鳴高校
兵庫県立柏原高校

教員養成フラッグシップ大学推進委員会

中央教育審議会



「学び続ける教師」を目指して

■ 兵庫教育大学が目指す教師像

皆さんは、「世界一、素晴らしい授業」ってどんな授業だと思いますか？あるいは、「10年前の素晴らしい授業」と「10年後の素晴らしい授業」とは果たして同じだと思いますか？

言うまでもなく、唯一無二の「世界一、素晴らしい授業」は存在しません。また、「10年前の素晴らしい授業」は、10年後にも「素晴らしい授業」だと評価されるとは限りません。しかし、「その時のAさんにとっての素晴らしい授業」は確実に存在しています。教育は、一人一人の子供の実態に応じて、その個別具体性に寄り添いながら、ねらいとする資質・能力を育成していくことが求められます。一方で、学習指導要領や幼稚園教育要領は概ね10年に1度、改訂が行われます。これは、社会の変化に対応して、教育の考え方もどんどんと進化していくからです。

このように考えると、教師という仕事は、教職に関わるしっかりとした軸を持ちながら、一人一人の子供の個別具体性を学び取るとともに、その子供たちが大人になる10年後、20年後の未来を予見しながら、新しい教育改革の考え方を学び続けていく必要があります。教師の専門性は、「学び続ける」ことこそ存在しているのです。

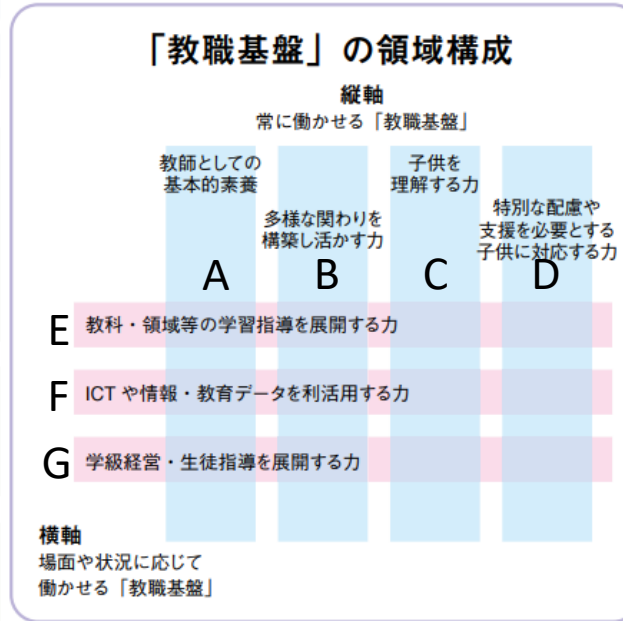
兵庫教育大学では、このような考え方のもと、「学び続ける教師」の育成を目指しています。本学での学修をスタートラインにして、生涯にわたって継続的に自己の専門性を高め続けていける、そんな力（CPD）を皆さんに獲得して欲しいと願っています。



兵庫教育大学 新・教員養成スタンダード

19の教職基盤

- A 01- 豊かな人間性 教養、人権意識
- 02- 教職の意義と関係法規、学習指導要領、教育改革の動向等
- 03- 学校の組織マネジメントと働き方
- B 04- 連携・協働、コミュニケーション、ファシリテーション
- C 05- 子供の発達と学習
- D 06- ダイバーシティとインクルージョンの教育
- E 07- 学習者中心の学習観・授業観
- 08- 教科等の専門性と教材研究
- 09- 授業設計・実践・評価・改善
- 10- カリキュラムの 開発・実施・評価
- 11- STEAM 教育
- F 12- ICT の利活用
- 13- 情報教育(含プログラミング教育、情報モラル・セキュリティ教育)
- 14- 教育データの活用
- G 15- 生徒指導・生活指導
- 16- 学級経営、特別活動
- 17- 教育相談
- 18- キャリア教育
- 19- 防災教育、学校安全





カリキュラムポリシー

教養科目群

(アカデミックスキル科目、社会課題探究科目、理数系基礎科目、グローバルスタディーズ科目、表現コミュニケーション科目等)

教職共通科目群

(教育基礎科目、発達・心理科目、**連携協働科目**、**インクルージョン科目**等)

専門科目群

(教科教育、幼年教育に係る専門科目)

教育内容・方法科目群

(**学習観・授業観転換科目**、初等内容科目、初等教科・領域教育法科目、**STEAM教育科目**、**ICT・情報・データ利活用科目**、学級経営・生徒指導科目、教職支援科目)

教職探究・

リフレクション科目群

(教職キャリア発達科目、実地教育科目、インターンシップ科目等)

オレンジ:フラッグシップで新設した先導的科目

学習指導系カリキュラムの構成

1・2年次

3・4年次

授業づくりの基礎・基本
(従来のコアカリ)

学習観の転換
新たに求められる学び

学びの個性化・専門性向上

CPDへの方向づけ

講義・演習・探究科目

初等教科内容科目
初等教科教育法科目
教職キャリア発達科目

学習観・授業観
転換科目

ICT・情報・
データ利活用科目

STEAM教育科目

多様な
選択科目
専門科目

初等教科授業デザイン科目

教職実践演習

転換した学習観の落とし込み

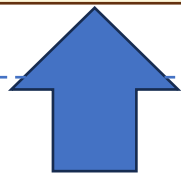
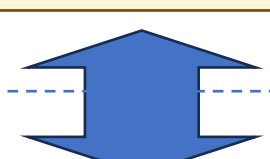
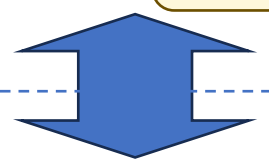
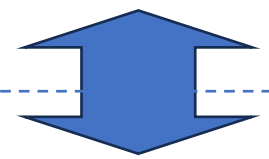
実地教育

初等観察実習

フレンドシップ実習

初等・中等基礎実習
& リフレクション

学校教育応用実習
(選択)





教職科目として新しく開設した科目

21単位

*：中高免には適用せず

テーマ	科目名	単位	授業方法	学年
教師の連携・協働	子どもの安全と学校組織	2	講演	1
	教師の連携・協働と学校経営	2	講演	3
	多機関連携と学校防災	2	講演	3
インクルージョン	インクルーシブ教育基礎論	2	講演	1
	インクルーシブ教育実践論	2	講演	2
学習観、授業観の転換	学習科学と授業のリデザイン	2	講演	2
	ラーニング・ファシリテーションの理論と実践	1	講演	2
EdTech	デジタル学習環境と情報活用	1	講演	1
	小学校プログラミング教育教材論*	1	講演	2
	情報モラル・セキュリティ教育論	1	講演	2
教育データサイエンス	教育データサイエンス	2	講演	1
STEAM教育	STEAM教育概論	1	講義	2
	STEAM教育演習	2	演習	2



現行の教職科目から減ずる科目

現行の教職科目は、ほぼ全てを2単位科目から、2つの1単位科目（例えば教育基礎論は、教育基礎論Ⅰと教育基礎論Ⅱ）に分割。Ⅰを必修（コアカリを満たす）、Ⅱは選択。

初等教科教育法は英語を除き2単位から1単位に（10科目必修）。初等教科内容科目は、10科目必修にしていたものを6科目選択必修に。

教科及び教科の指導法に関する科目	初等教科教育法 初等教科内容科目（各1単位）	10科目20単位必修 10科目必修	→ 10科目11単位必修 → 6科目選択必修	-9単位 -4単位	-13単位
教育の基礎的理解に関する科目	教育基礎論 2→1単位、 教職原論 2→1単位 教育社会学 2→1単位、 発達心理学 2→1単位、	教育史 2→1単位 教育制度論 2→1単位 教育心理学 2→1単位	選択必修 必修 選択必修 選択必修	-1単位 -1単位 -1単位 -1単位	-4単位
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育方法論 2→1単位 総合的な学習の時間の理論と実践 2→1単位 教育相談論 2→1単位 特別活動論 2→1単位			-1単位 -1単位 -1単位 -1単位	-4単位

小学校1種免の場合



フラッグシップ大学の特例適用以外に新設した科目

必修	教職基盤探究（1単位） ※学校課題事例研究Ⅰを改廃
	小学校授業づくり入門（1単位）
	教育情報化概論（1単位） ※情報通信技術活用論を改廃
選択必修	初等教科授業デザイン10科目（各1単位） 5単位以上

授業評価を実施したフラッグシップ科目（試行を含む）

年度	科目名	試行科目	連携先	受講者数	平均値
4	AI・データサイエンス基礎			140	3.27
4	教育データサイエンス			96	3.20
4	STEAM教育演習（教養ゼミ）	○	加西市	14	3.92
4	教育情報化概論	○	ダイワボウ情報システム(株)	173	3.71
5	AI・データサイエンス基礎			145	3.47
5	教育データサイエンス		(株)MM総研	147	3.54
5	STEAM教育演習（教養ゼミ）	○	加西市、加東市 アドベンチャーワールド	36	3.79
5	インクルーシブ教育実践論 （障害者理解と支援（入門））	○		14	3.92
5	インクルーシブ教育実践論 （特別支援教育概説A）	○		103	3.76

4件法による

STEAM教育

- Phase I コア要素の開発
- Phase II シラバス開発
- Phase III 実践 (R7~)

- ✓ 「STEAM教育概論」：「総合的な学習の時間の理論と実践」の一部でコア要素を試行的に実施。
- ✓ 「STEAM教育演習」：「教養ゼミ」の一部クラスで試行的に実施。

[学修の意義]

各教科での学習を実社会での問題発見・解決にいかしていくための教科横断的な教育としてSTEAM教育の実施が求められている。STEAM教育科目では、STEAM教育の意義や教師としての在り方を学ぶ。

[今後の予定]

✓ R7より「STEAM教育概論」，「STEAM教育演習」を実装予定。



STEAM Labを
活用した授業

アワーズ、加西市教育委員会と
連携した授業実践
フィールドワークやワークショップ



「STEAM教育演習」試行実践の成果は、<https://doi.org/10.15117/0002000390> を参照